

令和7年度 4歳児 「運動会 学年の遊び」(新設)

(子どもの姿に応じて計画を見直す。特に柔軟に変更可能な箇所を網かけ、実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

1学期に子ども達は、好きな遊びや学級の活動において、前学年で経験してきた遊びに加えて、新しい環境での新たな遊びにも取り組み、多様な遊びの経験を広げてきている。さらに、鬼ごっこやショーごっこなど友達と同じしたいことに取り組む中で、先生の手助けを得ながら、より遊びが面白くなるように必要に応じて遊びを創り出す経験を少しずつ積んできている。提案された遊びをただ行うのではなく、子ども自らが遊びを選んだり生み出したりした上で、より面白さを求めたり困ったりするなど改善する必要感をもって、遊び方やルールを変えていき、遊びを創り出していく楽しさを味わってきている。また、鬼ごっこでは勝ち負けがあることで、勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちを味わい、勝つためにはどうすればよいかを考えたり、同じチームの仲間と助け合ったりする経験もしてきている。さらに、鬼ごっこやショーごっこなどをする際に、忍者やキャラクターなどになりきって、イメージを広げてその世界に入って表現したり、よりそれらしくなるために必要な道具を作ったり身に着けたりしながら遊ぶ楽しさも感じてきている。

人間関係においては、自分のしたいことに思う存分取り組むことに満足していた姿から、次第に友達と同じことをしたり、声をかけ合いながら遊んだりするなど、友達と遊ぶことを楽しんだり、一緒に遊ぶ楽しさを感じたりする姿が多く見られてきている。さらに、4歳進級時にクラス替えを行ったことで、3歳の時に関わりの少なかった友達と関わる機会が増え、初めはこれまでも関わりが多かった友達とだけ関わろうとする姿が見られていたが、生活や遊びを共にする中で、いろいろな友達の個性を感じ、これまで関わりの少なかった友達とも声をかけ合ったり遊びに誘い合ったりする姿が見られてきている。特に学級の活動では、友達の思いや考えを聞いたり、それを受けて自分の考えを言ったりしながら、遊びや生活を進めようとする姿が増えてきている。

運動の側面から見ると、腕を振って歩く、走る、這う、ゆっくり動く、止まる、回る、リズムカルに跳ねる、跳ぶ、しゃがむ、踊る、ぶら下がる、木に登る、ボールを力一杯投げる、ねらって投げる、受ける、つくなど、多様な動きを全力で行ったり調整して行ったりする楽しさや動きの感覚を感じてきている。

2学期には、できるようになりたい、上手になりたいなど、これまでも見られてきている具体的な目的をもって少し難しいことに挑戦する姿が、より一層増えてくることが予想される。できるようになったことや、前よりも上手になってきていることを嬉しいと思ったり自信をもったりして、さらに次の目標を見出そうとすることも見られてくるだろう。そして、その実現したいという思いから、どうすれば実現できるのかを考えたり試したりする探究へとつながっていくことも考えられる。友達への意識はより一層高まり、同じクラスの友達に留まらず、同じ学年の友達へと関心をもつ範囲は広がり、友達の存在をはっきりと意識し、積極的に友達を誘ったり、友達とのやりとりを楽しんだり、友達と考えを出し合いながら遊びや生活を進めたり、友達のしていることや考えのよさを感じたりするようになっていくと考える。

そこで、2学期が始まって園での生活や遊びのリズムを取り戻す9月下旬から、同じ学年の友達と遊びを創り出す活動を行う。学年全体で取り組むことで、クラスを越えたいろいろな友達の個性を感じたり、遊びを通して必要を感じて考えを出し合って一つの遊びを創り上げていく中で、みんなが納得して楽しめるように思い付いたことを考えてしたり、友達の考えを聞いてそのよさを感じたり、共通の実現したいことに向けて仲間と作戦を考えて実行したりするなどしようとする機会としていく。その際、子ども達の興味や関心、主体的な思いを尊重し、積極的に取り入れ、試行錯誤する機会を十分に保障する。これまで関わりの少ない子どもも少なくないため、心が解放され自然と関わりが生まれやすく、1学期の遊びの経験を活かしやすい体を動かす遊びを核とするが、活動が子ども達にとって無理なく自然な形である範囲において可能な限り多様な経験につながるよう刺激していく。4歳児40名が同時に活動したり話し合ったりする困難さが子どもに与える影響に留意し、活動や話し合いの内容や形態、時間配分、教師の人員配置や役割分担等に慎重に配慮する。

3. **ねらい**（思考力が発揮・伸長されることを想定している部分を下線で示す）

- | | | |
|---|---|---------------|
| ① | 学年の友達と面白い遊びを創りたいと思い、考えを出したり試して考え直したり、自分にとって少し難しいこともできるようになりたい、上手になりたい、勝負に勝ちたいと思い、何度も取り組んだり、コツを意識したりしようとしたり、創った遊びや頑張りを見てもらうことを楽しみにしたりする。 | 自ら決める・選ぶ |
| ② | 実現したいことができたり、それに近付いたり、それに向けて 自分が 頑張ったこと や仲間と一緒に頑張ったこと を感じたり、頑張りを見てもらったりして、喜んだり自信をもったり充実感を得たりする。 | 充実感を得る |
| ③ | 前よりも上達したことや何度も諦めずに挑戦した頑張り、みんなで遊ぶ状況下での自分の状態を感じる。 | 自分のことを知る |
| ④ | 今まで関わりの少なかった友達も含めていろいろな友達と触れ合ったり、誘ったり誘われたり、遊びの仲間になったり、考えたことを一緒にしたりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる。 | 他者という喜びを感じる |
| ⑤ | 友達の考えや動き、声色、表情を見聞きして、頑張りや思い、素敵なところを感じたり、友達に声をかけられたり手助けされたりして、優しさを感じたりする。 | 他者のことを知る |
| ⑥ | 自分のしたいことや困ったこと、考えたこと、意向などをすすんで言葉にして伝えようとしたり、言葉にしてよかったと感じたりする。 | 自分のことを伝える |
| ⑦ | 友達の思いを感じて、友達に <u>必要な手助け</u> や <u>心配り</u> をしようとする。 | 他者のことを考えて行動する |
| ⑧ | みんなが納得して楽しい遊びになるように、 <u>自分のできることを考えて</u> したり、考えたことを話したり聞いたり、話し合って決めたことをしたりしようとする。 | 人と物事を進める |
| ⑨ | 大人数で遊ぶ前に <u>どうすると危ないか</u> を聞いたり <u>考えたり</u> 、遊ぶ中で感じた危険から <u>危なくない方法を考えたり</u> して、安全を意識して動かこうとする。 | 身を守る |
| ⑩ | 全力で体を動かしたり、 <u>したいことに合わせて動きを調節</u> したりして、様々な動きの感覚や様々な動きの楽しさを感じたり、コツを意識して体を動かそうとしたりする。 | 体の動きや感覚を磨く |
| ⑪ | 数量を捉えて <u>公平性や勝敗の判断</u> をしようとする。 | 数・量や形、空間を捉える |
| ⑫ | 対象との遠近や高低、位置、向きなどを捉えて、 <u>必要に応じて調整</u> しようとする。 | 数・量や形、空間を捉える |
| ⑬ | 話が聞きやすい場所を選んだり、 <u>話を聞いてもらえるように状況を整え</u> たり、 <u>遊びに必要な場作り</u> を行ったりしようとしたり、そうすることの効果を感じたりする。 | 場や状況を整える |
| ⑭ | 遊びのイメージや世界観に応じて必要な道具を作ろうと、 <u>作りたい物のイメージに合わせて色や形、質感などを意識して作ることを楽しむ。</u> | 色や形に表す |
| ⑮ | BGM を聞いたり音楽に合わせて体を動かしたりしながら、リズムやテンポ、曲調を感じる。 | 音に表す |
| ⑯ | 遊びのイメージや世界観に関連のある絵本を読んだりお話を聞いたりしてイメージを思い浮かべたり <u>言葉を遊びに取り入れたりイメージや遊びに流れる精神性</u> を言葉にしたりする楽しさを感じたり、言葉を言い換えたり具体的に話したりしようとしたりする。 | 言葉に表す |
| ⑰ | 遊びのイメージや世界観に合ったものになって、 <u>話し方や動き、表情などで表現する楽しさ</u> を感じる。 | 体や動きに表す |
| ⑱ | 遊びがより面白くなるように、 <u>遊び方や世界観の設定</u> 、 <u>BGM など</u> を加えて工夫する楽しさやその効果を感じる。 | 演出・構成する |

4. 展開

学年の友達と遊ぶことを楽しみにする

A【友達と遊びを創る】

- ・学年の友達と一緒に遊ぶ提案を聞く
- ・学年のいろいろな友達とふれあい遊びをする

学年の友達と遊びながら自分達の遊びを面白くする

- ・どんな遊びにしたいか相談する
- ・いくつかの遊びを試す
- ・みんなが楽しめる遊びを決める
- ・遊びながら感じたことを出し合い、改善する
- ・より遊びが面白くなるように考えを出し合う
- ・試して考え直す
- ・上手くいったことを喜ぶ
- ・遊びのイメージや世界観に関連する絵本を見たり、お話を聞いたりする
- ・遊びに必要な物を作る
- ・必要に応じてBGMをつける

B【体を動かして遊ぶ】

- ・挑戦したいことを考える
- ・遊びに必要な動きが上達するように何度も挑戦する
- ・挑戦する姿や頑張りを教師や友達に知らせる
- ・友達が頑張っている姿を見る
- ・危ないことがないか考え、安全に遊ぶためにはどうすればよいかを考え、実行する
- ・動きやすいように場や状況を整える
- ・友達と一緒にできる技を考えて挑戦する
- ・友達がしているのを見たり教えてもらったり教えたりする
- ・曲に合わせて動いたり、遊びのイメージや世界観に応じたものになって動いたり話したりする
- ・動きのコツを伝え合って意識して動く
- ・自分の上達や頑張りを感ずる

創った遊びを繰り返し行い遊び込む

- ・同じチームの友達と勝つためにできることを考えて努力したり作戦を立てたり励まし合ったりする
- ・話し合って決めたことを果たしながら取り組む
- ・遊び方やルールを変更すべき内容か、工夫や努力をすべき内容か精査しながら遊ぶ

楽しんでいることや頑張っていることを見てもらう

C【運動会で見てもらう】

- ・運動会でお家の人やお客さんに見てもらいたい思いをもつ
- ・みんなで創った遊びを見てもらう

| A【友達と遊びを創る】 | | |
|---|--|---|
| 予想される 子どもの活動 | ねらい | *環境の構成 ◎教師の援助 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学年の友達と一緒に遊ぶ提案を聞く ・学年のいろいろな友達とふれあい遊びをする ・どんな遊びにしたいか相談する ・いくつかの遊びを試す ・みんなが楽しめる遊びを決める ・遊びながら感じたことを出し合い、改善する ・より遊びが面白くなるように考えを出し合う ・試して考え直す ・上手くいったことを喜ぶ ・遊びのイメージや世界観に関連する絵本を見たり、お話を聞いたりする ・遊びに必要な物を作る ・必要に応じてBGMをつける ・同じチームの友達と勝つためにできることを考えて努力したり作戦を立てたり励まし合った | <ul style="list-style-type: none"> ○学年の友達と面白い遊びを創りたいと思う① ○今まで関わりの少なかった友達も含めていろいろな友達と触れ合ったりして一緒に遊ぶ嬉しさを感じる④ ○面白い遊びを創りたいと思い、考えを出したり試して考え直したりしようとする① ○自分達の遊びが十分できた喜びを感じる② ○より面白い遊びになったり、それに近付いたりして、喜んだり充実感を得たりする② ○みんなで遊ぶ状況下での自分の状態を感じる③ ○今まで関わりの少なかった友達も含めていろいろな友達と誘ったり誘われたり、遊びの仲間になったり、考えたことを一緒にしたりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる④ ○友達の考えや声色、表情を見聞きして、友達の思いや素敵などところを感じる⑤ ○友達に声をかけられた | <ul style="list-style-type: none"> ◎学年の友達と一緒に遊ぶことに期待できるように、これまで一緒にしたことのある遊びやそれをした際の楽しかった思いを振り返る。 *いろいろな友達と触れ合って遊ぶ嬉しさを感じられるように、体をくっつけ合う遊びをする中で、一緒にしたことのない相手を見つけて誘う状況を作る。 ◎いろいろな友達と触れ合って遊ぶ嬉しさを感じられるように、一緒に遊んでいる友達の名前やくっついていること、感じている嬉しい気持ちや楽しそうにしている様子を言葉にする。 ◎面白い遊びにしたいと思って考えを出し続けられるように、もっとどうしたいか尋ねてアイデアを出せる場を設けたり、出し合うことが楽しい雰囲気を作ったり、アイデアを受け止めたりする。 *自分達の遊びが十分できた喜びを感じられるように、これまでしたことのある遊びをベースに子どものアイデアを少しずつ反映していく素朴な遊びの段階から満足がいくまで遊ぶ時間や待ち時間が短くなるグループを設定する。 ◎遊びが面白くなったりそれに近付いたりする喜びや充実感を得られるように、子どもが感じている以前より面白くなったところを尋ねたり、教師が感じた面白くなってきているところやみんな考えてきた頑張りを言葉にしたりする。 ◎自分の状態に気付けるように、今おかれている状況と客観的に見た本人の状態を尋ねたり、教師や他児から見たそれを聞く状況を作ったりする。 ◎いろいろな友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、同じ仲間になる相手を必然的に変える状況を作ったり、誘うことのよさを言葉にしたり、同じチームの仲間の名前をまとめて言ったり、相談して決めたことをしている様子を言葉にしたりする。 *いろいろな友達に意識を向けられるように、同じチームの仲間が分かる掲示を、写真カードを使って行う。 ◎友達の声色や表情から友達の思いを感じられるように、友達の声を聞いたり顔を見たりすることを提案したり、声色や表情から教師が感じた友達の思いを言葉にしたりする。 ◎友達の考えを聞いて素敵などところを感じられるように、考えを聞く機会を設けたり、考えに対する感想を尋ねたり、教師が感じた考えのよさを言葉にしたりする。 *友達の優しさを感じられるように、上手いかな |

| | | |
|---|---|--|
| <p>りする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合って決めたことを果たしながら取り組む ・遊び方やルールを変更すべき内容か、工夫や努力をすべき内容か精査しながら遊ぶ | <p>り手助けされたりして、優しさを感じる⑤</p> <p>○自分のしたいことや困ったこと、考えたこと、意向などをすすんで言葉にして伝えようとしたり、言葉にしてよかったと感じたりする⑥</p> <p>○友達の思いを感じて、友達に必要な手助けや心配りをしようとする⑦</p> <p>○みんなが納得して楽しい遊びになるように、自分のできることを考えてしたり、考えたことを話したり聞いたり、話し合って決めたことをしたりしようとする⑧</p> <p>○大人数で遊ぶ前にどうすると危ないかを聞いたり考えたり、遊ぶ中で感じた危険から危ない方法を考えたりして、安全を意識して動こうとする⑨</p> <p>○数量を捉えて、公平性や勝敗の判断をしようとする⑩</p> <p>○対象との遠近や高低、位置、向きなどを捉えて、必要に応じて自分の位置や動き、物の位置などを調整しようとする⑪</p> <p>○話が聞きやすい場所を選んだり、話を聞いてもらえるように状況を整えたり、遊びに必要な場作りを行ったりしようとしたり、そうす</p> | <p>かったり困ったりした際に教師がすぐに手助けせず、他児に友達の様子を知らせて声をかけられたり手助けされたりしやすい状況を作る。</p> <p>◎自分の思いや考えをすすんで話そうとするように、話せる間をとったり、じっくり聞く態度を示したり、全体場で話しにくい幼児には個別に尋ねる機会を設ける。</p> <p>◎言葉にしてよかったと感じられるように、自分の思いや考えを言葉にした際に十分に受け止め、それを活動に反映したり、反映できない際にも丁寧に理由を伝えたりする。</p> <p>◎友達に必要な手助けや心配りができるように、友達のことや友達のおかれた状況などについて知らせたり、友達に対して何ができそうか尋ねたりする。</p> <p>◎みんなでする遊びが楽しくなるための考えを言ったり、考えて動いたりするように、考えてできることをする姿を取り上げて、みんなが楽しくなることを考えているよさを伝えたり、友達の考えを聞く場をもち、どう思うか尋ねたりする。</p> <p>◎話し合って決めたことを必要を感じてしようとするように、みんなで決めたことを果たす大切さや意味を言葉にしたり、必要があれば改善に向けて再び検討可能であることを知らせたりする。</p> <p>◎危なくないように考えて遊べるように、子ども自身で考えにくいことについては、事前に危険なことを知らせて、どうすると危なくないか尋ねる。</p> <p>◎感じた危険から危なくない方法を考えられるように、子どもが危険を感じたタイミングを逃さずに取り上げ、個別や全体で考える機会を設ける。</p> <p>*数量を捉えたり比べたりできるように、ホワイトボードと数色のマグネットをいつでも使えるように用意しておき、並べるなど操作できる状況を与える。</p> <p>◎遠近や高低、位置、向きなどを捉えられるように、子どもから見た相手や的などとの距離や高さ、位置関係、方向などを言葉にしたり、それらを尋ねたり、客観的に見せる場を設定したりする。</p> <p>◎捉えた遠近や高低、位置、向きなどを意識して、自分の位置や動き、物の位置を調整するように、捉えていることとそれを受けての本児や物の位置や動きの現状を具体的に言葉にする。</p> <p>◎話が聞きやすい場所を選べるように、今話が聞きやすいか、どこであれば聞きやすいかを問いかける。</p> <p>◎話を聞いてもらうために状況を整えるように、どうして聞いてもらえないのか、どうすれば聞いてもらいやすいかを尋ねたり、教師が感じた現状を</p> |
|---|---|--|

| | | |
|--|---|---|
| | <p>ることの効果を感じたりする^⑬</p> <p>○遊びのイメージや世界観に応じて必要な道具や衣装を作ろうと、作りたい物のイメージに合わせて色や形、質感などを意識して作ることを楽しむ^⑭</p> <p>○BGM を聞いたり音楽に合わせて体を動かしたりしながら、リズムやテンポ、曲調を感じる^⑮</p> <p>○遊びのイメージや世界観に関連のある絵本を読んだりお話を聞いたりしてイメージを思い浮かべたり言葉を遊びに取り入れたりイメージや遊びに流れる精神性を言葉にしたりする楽しさを感じる^⑯</p> <p>○言葉を言い換えたり具体的に話したりしようとする^⑰</p> <p>○遊びのイメージや世界観に合ったものになって、話し方や動き、表情などで表現する楽しさを感じる^⑱</p> <p>○遊びがより面白くなるように、遊び方や世界観の設定、BGM などを加えて工夫する楽しさやその効果を感じる^⑲</p> | <p>伝えたりする。</p> <p>◎場や状況を整えた効果を感じられるように、整えたことでどうなったか尋ねたり、子どもがしたことと得られたことを結び付けて話したりする。</p> <p>◎遊びのイメージや世界観に応じた道具や衣装を作ることに関心をもてるように、遊びのイメージや世界観に関連のある写真や絵本、図鑑などを集めて置いておいたり、掲示しておいたりする。</p> <p>◎色や形、質感などを意識して作ることを楽しめるように、作りたい物の色や形、質感などがどのようなものか尋ねたり、教師も一緒になって思い浮かべた物の色や形、質感などを言葉にしたり、作ったりする。</p> <p>*BGM を聞いてリズムやテンポ、曲調を感じられるように、いろいろな曲をかけ、遊びの動きや場面に合った BGM を探し、リズムやテンポ、曲調について話す機会を設ける。</p> <p>◎音楽に合わせて体を動かしてリズムやテンポ、曲調を感じられるように、音楽から思いついた動きをみんなでしてみたり、動きと音楽が合っている部分を音楽要素と結び付けて言葉にしたりする。</p> <p>◎絵本を読んだりお話を聞いたりしてイメージを思い浮かべる楽しさを感じられるように、ポイントとなる言葉をはっきりと声にしたり、具体的な言葉を加えたりする。</p> <p>◎絵本の言葉や素話から遊びに言葉を取り入れたイメージや遊びに流れる精神性を言葉にしたりする楽しさを感じられるように、遊びのイメージや遊びに流れる精神性と結び付く言葉を取り上げたり、教師が広げたイメージを楽しんで言葉にしたりする。</p> <p>◎言葉を言い換えたり具体的に話したりしようとするように、別の言葉や具体的な言葉を提案したりする。</p> <p>◎遊びのイメージや世界観に合ったものになって表現することを楽しめるように、子どもがなりたものの外見や動きの特徴、得意なこと、好きな物、性格などを尋ねたり知らせたり、具体的な場面を設定したり、教師も一緒になって遊んだり、なってしたいことを尋ねたり、一緒に考えたりする。</p> <p>◎遊びがより面白くなる設定を考える楽しさを感じられるように、常に子どもの考えを取り入れる姿勢を示したり、絵本や素話の遊びにつながっていく要素を書き留めたり、遊びの設定を変えて試すことを提案したり、設定を変えていく楽しさを言葉にしたりする。</p> <p>◎遊び方や世界観の設定、BGM などを工夫する効果を感じられるように、設定や BGM を変えた</p> |
|--|---|---|

| | | |
|--|--|--|
| | | り加えたりしたことで面白くなったことを尋ねたり、教師が感じた変化を言葉にしたりする。 |
|--|--|--|

| B 【体を動かして遊ぶ】 | | |
|---|---|---|
| 予想される 子どもの活動 | ねらい | *環境の構成 ◎教師の援助 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦したいことを考える ・遊びに必要な動きが上達するように何度も挑戦する ・挑戦する姿や頑張りを教師や友達に知らせる ・友達が頑張っている姿を見る ・危ないことがないか考え、安全に遊ぶためにはどうすればよいかを考え、実行する ・動きやすいように場や状況を整える ・友達と一緒にできる技を考えて挑戦する ・友達がしているのを見たり教えてもらったり教えたりする ・曲に合わせて動いたり、遊びのイメージや世界観に応じたものになって動いたり話したりする ・動きのコツを伝え合って | <p>○自分にとって少し難しいこともできるようにしたい、上手になりたい、勝負に勝ちたいと思い、コツを意識したり、何度も取り組んだりしようとする①</p> <p>○実現したいことができたり、それに近付いたり、それに向けて自分 が頑張ったことや仲間 と一緒に頑張ったこと を感じたりして、喜んだり自信をもったりする②</p> <p>○前よりも上達したことや何度も諦めずに挑戦した頑張りを感ずる③</p> <p>○今まで関わりの少なかった友達も含めていろいろな友達を誘ったり誘われたり一緒に挑戦したりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる④</p> <p>○友達の動きを見て、素敵なところや頑張りを感ずる⑤</p> <p>○自分のしたいことや困ったことなどをすすんで言葉にして伝えよう</p> | <p>◎少し難しいこともできるようにしたい、上手になりたい、勝負に勝ちたいと思えるように、少し難しいことに向かう段階を細かく設定して提案したり、上達していることや頑張り、期待感を言葉にしたり、友達や教師の挑戦心を見せたりする。</p> <p>◎実現したいことに向けて何度も取り組んだりコツを意識したりするように、繰り返し取り組んだりコツを意識したりするよさを言葉にしたり、繰り返し取り組んだりコツを意識したりしたこと で実現したいことに近付いていることを伝えたりする。</p> <p>◎実現したいことがかなったりそれに近付いたりしたことや自分の頑張りを感じて自信がもてるように、したいことが実現したりそれに近付いたりしたことを一緒に喜んだり、これまでの頑張り に感心したり、他の場面にもつながることを言葉にしたりする。</p> <p>◎友達と一緒に頑張ったことを感じて喜びを感じられるように、同じチームの仲間で頑張ったことや全員が作戦を意識し続けていたことを言葉にする。</p> <p>◎自分の上達や頑張りを感じられるように、教師が感じた上達しているところや頑張り を言葉にしたり、以前の自分と比べてどうか、振り返ってどう取り組んだかを尋ねたりする。</p> <p>◎いろいろな友達と一緒に挑戦する嬉しさを感じられるように、同じことに挑戦している友達の存在を知らせたり、友達を誘うことを提案したり、一緒に挑戦している子どもの名前を続けて呼んで○○仲間と称したりする。その際、クラスの枠を超えた人間関係を意識する。</p> <p>*いろいろな友達に意識を向けられるように、学年で写真カードを用いて同じことに挑戦している仲間が見て分かる掲示を行う。</p> <p>◎友達の動きから素敵なところや頑張りを感じられるように、友達の動きを見る機会を設けたり、友達の動きから感じた素敵なところや頑張り を尋ねたり、感じていることに共感したり、教師が感じたことを言葉にしたりする。</p> <p>◎自分の思いをすすんで言葉にするように、思いを尋ねたり、思いはあるが言わずにいる状態になっていることを知らせたり、言うのと分かってもらえ</p> |

| | | |
|---|---|--|
| <p>意識して動く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の上達や頑張りを感 じる | <p>としたり、伝えてよか った思いを感じたりす る⑥</p> <p>○友達のことを感じて、 友達に必要な手助けや 心配りをしようとする ⑦</p> <p>○全力で体を動かしたり、 したいことに合わせ て動きを調節したり して、様々な動きの感 覚や様々な動きの楽し さを感じたり、コツを 意識して体を動かそう としたりする⑩</p> <p>○数量を使って自分の上 達や成長を捉えようと する⑪</p> <p>○遊びに必要な場作りを 行おうとしたり、そう することの効果を感じ たりする⑬</p> | <p>たり思いが叶ったりする ことを知らせたりする。 ◎伝えてよかった思いを 感じられるように、伝 えてくれたから分かつた ことを知らせたり、伝 えられたことを受けて返 事をしたり行動を起こし たりする。</p> <p>◎友達に必要な手助けや 心配りをしようと思え るように、友達にとって 必要な手助けかどうか 尋ねたり、友達の困つて いるところを尋ねたり具 体的に知らせたりする。</p> <p>*全力を出したり調節し たりして体を動かす感 覚や楽しさを感じられ るように、全力が出せ たり調節が必要だつた りする広さや高さ、地 面の硬さなどを選んで 空間や道具を用意、提 案したり、全力を出し たり調節したりして体 を動かしている友達や 教師の動きを見る機 会を設ける。</p> <p>◎コツを意識して体を 動かそうとするよう に、コツを意識して動 いている友達の動きを 見る機会を設けたり、 友達にコツを聞くこと を提案したり、コツと ずれがある動きを具 体的に知らせたりす る。</p> <p>*数量から上達や成長 を捉えられるように、 挑戦したり上手くい った回数を書き留め たりマグネットなど の印で示したりして、 数を可視化する。</p> <p>◎遊びに必要な場を整 えられるように、これ からすることに応じた 場の広さや高さ、地 面の硬さ、使う道具、 物を置く位置など、遊 んでみて不都合はな いか、より遊びやす く楽しくなる方法 はないか、より遊び やすく楽しくなる方 法はないか、教師が 考える工夫を提案し たりする。</p> <p>◎遊びに応じて場を 作った効果を感じら れるように、場を変 えたことで遊びやす く楽しくなったか 尋ねたり、教師が 感じた効果を知らせ たりする。</p> |
|---|---|--|

| C【運動会で見てもらう】 | | |
|--|--|---|
| 予想される 子どもの活動 | ねらい | *環境の構成◎教師の援助 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・運動会でお家の 人やお客さんに見 てもらいたい思い をもつ ・みんなで創った 遊びを見てもら う | <p>○運動会でお家の人 やお客さんに見て もらうことを楽し みにする①</p> <p>○楽しんだり頑張 ったりしてきたこ とをお家の人やお 客さんに見てもら ったり拍手をもら ったり褒めてもら ったりして、充実 感を得る③</p> | <p>◎お家の人やお客 さんに見てもら うことを楽し みにできるように、 友達と創ってきた 遊びをお家の人 やお客さんに見 てもらいたい か尋ね、運動 会の日に見て もらうことを 話題にしたり、 具体的に楽し みなことを 尋ねたり、教 師も楽しみな 気持ちを話 したりする。</p> <p>◎楽しんだり頑 張ったりして きたことを見 てもらって充 実感を得られ るように、教 師が感じた頑 張りや素敵な 姿を具体的に 言葉にしたり、 楽しんできた ことやこれま での頑張りが 表れていた部 分を当日の姿 と結び付けて 振り返ったり、 お家の人や お客さんに見 てもらったり 拍手をもら ったりしたこ とを一緒に思 い出して喜ん だりする。</p> |